

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	視能検査学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期	前期	教室名	
担 当 教 員	家形富恵					
実務経験と その関連資格	視能訓練士として湖崎眼科で13年間勤務。医師の専門領域が小児眼科、緑内障、角膜疾患、網膜疾患と多岐にわたっていたため、弱視・斜視診療を中心に、検査全般に従事しました。現在は複数のクリニックで、指導や育成にも携わっています。日本弱視斜視学会会員。					
《授業科目における学習内容》						
斜視の定義について理解を深めるとともに、眼位検査や大型弱視鏡検査の原理や目的を学び、検査方法を習得することを目指します						
《成績評価の方法と基準》						
学期末定期試験 80% 平常点 20%(小テスト 課題提出点など)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「視能学第3版」文光堂 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」医学書院 「眼科検査法」慈慶出版						
《授業外における学習方法》						
授業で扱った内容を復習する時間を確保してください。 斜視の理解は単なる知識だけでなく、実践的な応用力が求められるため、継続的な学習が重要です。						
《履修に当たっての留意点》						
授業内容を分かりやすくするため、パワーポイントを活用して授業を進めます。これにより、教科書の内容と結びつけて学ぶことができます。 また、斜視検査には十分な理解が必要ですので、授業に集中し、しっかりと意識を向けて取り組んでください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	斜視の基本知識について学び、眼位を理解できるようになる。		「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」	「視能学 第3版」pp.320-323,p.327を確認しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	・斜視の定義・病因論・分類 ・単眼性眼位 ・両眼性眼位				
第2回	授業を通じての到達目標	角膜反射を用いた眼位検査の方法について理解できるようになる。		「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.84-97	「視能学 第3版」pp.328-329「視能学エキスパート視能訓練学第2版」p.145を確認しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	・Hirschberg試験 ・krimsky試験 ・正切尺(角膜反射法・Maddox杆を用いる方法)				
第3回	授業を通じての到達目標	遮閉試験の原理と検査の進め方の理解できるようになる。		「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.74-79	「視能学 第3版」pp.329-332を確認しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	・遮閉試験 ・遮閉-遮閉除去試験 ・交代遮閉試験 ・遮閉下の眼位観察法				
第4回	授業を通じての到達目標	遮閉試験による方法の理解を深め、概ねcover testを行えるようになる。		「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.74-79	「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.140-142を確認しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	・遮閉試験 ・遮閉-遮閉除去試験 ・交代遮閉試験 ・遮閉下の眼位観察法				
第5回	授業を通じての到達目標	プリズム遮閉試験の原理と検査の進め方の理解できるようになる。		「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.80-83	「視能学 第3版」pp.332-333を確認しておいてください。	
	各コマにおける授業予定	・単眼プリズム遮閉試験 ・同時プリズム遮閉試験 ・交代プリズム遮閉試験				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	プリズム遮閉試験の理解を深めることができる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.80-83	「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.142-144を確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	・単眼プリズム遮閉試験 ・同時プリズム遮閉試験 ・交代プリズム遮閉試験		
第 7 回	授業を通じての到達目標	プリズム遮閉試験の理解を深め、概ね眼位ずれの定量を行えるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.80-83	「眼科検査法」pp.80-83を確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	プリズムを用いて斜視を作成して定量		
第 8 回	授業を通じての到達目標	プリズム遮閉試験について理解をさらに深め、眼位ずれの定量を行えるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.80-83	「眼科検査法」pp.80-83を箇所を確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	プリズムを用いて斜視を作成して定量		
第 9 回	授業を通じての到達目標	定性検査および定量検査の種類、方法、目的を理解し、眼位検査を行えるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.74-97	「眼科検査法」pp.74-89見直し、分かりづらい箇所を確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	眼位検査 まとめ		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	大型弱視鏡の特徴、検査の原理、および検査のポイントを理解できるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」	「視能学第3版」pp.347-355確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	大型弱視鏡検査		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	大型弱視鏡の検査の進めかたを理解できるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」	「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.119-124を確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	大型弱視鏡検査		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	大型弱視鏡の特徴や検査の原理を理解し、検査の手順と進めかたを把握できるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」	眼科検査法」pp.102-110確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	大型弱視鏡検査		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	大型弱視鏡の特徴や検査の原理を理解し、検査の手順と進めかたを把握できるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」	「眼科検査法」pp.111-117を見直し、分かりづらい箇所を確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	大型弱視鏡検査		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	本講義を通じて、大型弱視鏡検査に必要な基礎知識を習得できるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.98-117	「視能学第3版」pp.347-355と「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.119-124を見直し、分かりづらい箇所を確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	大型弱視鏡検査 まとめ		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	本講義を通じて、斜視検査に必要な基礎知識を習得できるようになる。	「視能学第3版」 「視能学エキスパート視能訓練学第2版」 「眼科検査法」 pp.74-97	「視能学第3版」pp.327-333と「視能学エキスパート視能訓練学第2版」pp.140-145を見直し、分かりづらい箇所を確認しておいてください。
	各コマにおける授業予定	まとめ		